

# まちづくり懇談会記録

開催日時	令和2年2月4日(火) 午後2時00分～午後3時20分
場 所	頼城多目的研修センター
出席者等	○市民参加者：男性11名 女性 8名 合計19名

## 会 議 の 概 要

### 1 開会 【総務部長 司会進行】

### 2 市長あいさつ

#### ○荻原市長あいさつ

皆さまこんにちは。お忙しい中、足元の悪い中、こうして多くの皆さまにお集まりいただきまして本当にありがとうございます。本日から14日にかけて、市内11か所でまちづくり懇談会を開催しますが、その初日でございます。今日は会長にもご参加いただき、また皆さまにおかれましてもいつも市政にご協力いただき、誠に感謝を申し上げます。

さて、この一月から中国の武漢で発生しましたコロナウイルスの感染が世界的に拡大しております。この予防対策の懸念の他にも地球の温暖化の影響もございまして、積雪量の記録的な少なさが続いているところです。作物などの農業への影響も懸念されるところでございますが、注意深く見守りながらしっかりした対応をもっていかなければならないと考えております。

また、昨日現在の降雪量については2m88cmで昨年の8割ぐらい、積雪深、積もった量については28cmという昨年の約半分という状況で、寒気が続かない、暖冬で雪が解けるといふ、なかなか経験がないことが続いています。

そういう中におきまして、先ほど司会者の方からご案内申し上げておりますが、市が今直面する2つの課題がありまして、今後の取り組みについて、現状をお伝えしてご意見をいただきながら、進めて参りたいと思っております。

詳細については担当からご説明申し上げますけれども、私の方から簡単にご説明申し上げます。一つは、市役所の庁舎の整備であります。市役所の庁舎の建築については、築後50年が経過し、老朽化も進んでおります。耐震性も劣る状況であり、震度6強で倒壊の恐れがあるという状況で、芦別は地震が少ない土地柄でありますから、そんなに心配はいらぬという方もいらっしゃるかもしれませんが、これとて保証されるものではありません。こういう状況におきまして、やはり将来にわたって行政サービス、あるいは防災の取り入れ、こういった観点からも市役所の機能というものをしっかりと保全をしていくことも求められていることだと思っております。したがって長期的な観点に立ち、建て替えを視野に入れさせていただいて、多大な事業経費を要することもありますので、国の支援を求めて行きますけれども、市の財政面も十分念頭に入れながら、検討を加えて行かなければならないと思っております。

もう一つは市立病院の事ですが、人口の減少、さらには常勤医師の不足といったことから、受診者の減少ということで年々厳しい経営環境下におかれているところでございます。昨年、厚労省から全国で424の病院、道内においては54の病院、これらを再編・統合しようという、その一つに芦別が入ったわけでございます。これを受けて、市民の皆さんから、市立病院がなくなるのではないかと心配の声をお寄せいただいたところですが、市民の皆さんの健康と命をしっかりと守るという使命を果たす唯一の公立病院でありますので、なくすることなど毛頭考えられないと思っておりますし、そう

いう基本的な考えも持ちながら、先月25日でありますけれど、一年間ほど検討をいただいた有識者によります市立病院のあり方検討委員会から、今後の市立病院のあり方について答申をいただきました。今日は、その報告と合わせまして市としても答申をしっかりと受け止めまして、市民の皆さんの安心な暮らしにつながられるように検討を加えて、可能な限りにおいて病院を守り維持していきたいと考えているところでございます。

その他につきましては、皆さんに学校誘致について大変ご支援・ご協力いただいた林業大学校ですが、いよいよ4月に開講いたします。本校は旭川市内であります。分校的な立ち位置の中で、旧常磐小学校やグラウンドを活用していただくということで、学生をこれから迎え入れるわけでございますので、これについて支援を引き続きお願いしたいという内容について、中間報告をさせていただくことと合わせて、冒頭申し上げました新型コロナウイルスの予防対策についてもお伝えをさせていただきたい。これらの内容を今回の懇談会で進めさせていただきたいことをお伝え申し上げ、開会のご挨拶といたします。

### 3 説明事項【担当者より説明】（資料添付省略）

- (1) 芦別市総合庁舎建設基本構想（素案）について
- (2) 市立芦別病院のあり方検討委員会の答申について
- (3) その他
  - ・北森カレッジの本市での実習について
  - ・新型コロナウイルスの対策等について

### 4 意見交換

○市民

司会者の方が言ったんだけど、説明が30分で意見交換が30分、今もう50分経ってますが、時間過ぎてもいいのですか。

●総務部長

説明に時間がかかってしまったので、時間が過ぎても構いません。

○市民

限界集落なのだから、あらかじめ要点を持ってきてもらいたい。新しく庁舎を建てるというならば、はっきり言ってこれは市長の念願だと思います。市民に問い合わせたら、耐久性がなく危ないと言えれば反対はできない。市役所で若い人をはじめ市長だって働いている。市役所は、トイレだって和式、今時市役所で和式のところなんてないだろうし、狭いし汚いし。なんで今までやらなかったかといえば、やはりお金の問題だと思っています。だけど、私は反対しません。だけど、何回も言っているが芦別に頼城もあると。そして、私たちの住宅は昭和53年に建てられたもので、市役所より9年先の物です。私たちの住宅は、市営住宅ではなく改良住宅です。あそこで大丈夫なのかと何回も聞いています。答えは出てこないけれども、ここも耐久性があります。そういうこともあわせて話をしてほしいと思う。私は、小学生からここに住んでいます。60年以上住んでいて、炭鉱にいて、そうして今、限界集落と言われて、周りを太陽光パネルで囲まれてどうなるんだと不安になります。私はここで最後までいることに悔いはないと思っています。60年以上ここに住んで、炭鉱に30数年勤めていたのだから。市役所が来た時に何回も、一つにまとめて頼城に市営住宅を建ててほしいと言っています。トイレも風呂もついたものをと。それには応えてもらえなく、聞き流されています。はがきに、早く基本方針示してほしいと書いたら、そのうち考えますと帰ってきたけれども。もっと時間があれば、もっとしゃべりたいけれども。

もう一つは病院についてです。今は、正看護婦というか普通の看護婦はいないので  
か。大体技術職みたいな職員ではないのですか。

●病院事務課長

外来は臨時の看護師や看護補助職員が多く、病棟には看護師が多くいます。

○市民

若い看護師を多く入れて給料を改善してとか、待遇さえ改善すれば若い人が来るはず  
だと思う。市役所にも、給料を改善すれば、若い人が喜んでくるよと言いました。私は、  
大した要求をしていません。市営住宅を建ててほしい、市役所も病院も待遇を改善して  
若い人を大切にしてほしいと何回も言っているがなにも変わっていません。それだけ考  
えてほしいと思っています。

●総務部長

何点が非常に厳しいお話をいただきました。まず、市役所庁舎の建設については、基本  
的に賛成であるとのお話をいただきました。2点目の頼城の市営住宅の建替えの関係で、  
今までも何回もお話をされているということでありましたが、市として、この地域に新た  
な市営住宅を整備するという計画は持っていません。改良住宅の設備の計画はありますが、  
頼城地区に新たに公営住宅を整備するという考えがないということで、ご理解をいた  
だきたいと思えます。

病院・市役所へのお話もいただきました。若い職員が安心して働けるようにたくさん  
採用してほしいと、芦別もどんどん人口が減ってきて、働く場所も少なくなっていく、そ  
ういった中で、若い人たちが芦別に残って仕事ができる場所をという観点からのご意見  
だろうと思えます。市役所もこれから人口が減っていく中で、今の職員数を減らしてい  
かなければならないということもあります。しかし、その中で地元の方が地元に残って仕  
事ができるというのは病院も同じだと思っています。5人辞めたから5人採用というの  
は、これからの人口減少を考えた場合に難しいのですが、できるだけ地元の方の採用に  
努めて行きたいと思えます。

○市民

病院の資料に再編・統合のリストに入ったとあります。古くから紐解いていくと情け  
ない話になっていきます。というのは、2004年ころは空知管内でも市立病院は健全  
的な経営を行っていて、11億円ぐらいの留保金を持っていたわけです。それが、20  
13年ころにいろんな事情で食い尽くしてしまったということです。それから赤字状態  
がずっと続いて現在に至っているわけです。制度の変更が原因だと思えますが、19人  
ぐらいいた医師が、2013年度には8人に減ってしまったということになりました。  
しかし、他の市町村も同じ状況下の中で対応を迫られていたはずですが、ところがこのリ  
ストの中に入っていないんです。何かミスがあつてこのような情けない結果になったと  
思うんです。大きな要因は人口の減少だと思っています。今月の広報の中で、国立社会  
保障・人口問題研究所の数字が載っていました。2年ぐらい前に道でもって各市町村の  
人口統計、何年後には何人ぐらいと発表しています。その結果からみると、この研究所  
の発表は膨大に人口の減少率が大きくなっています。20年後におおよそ50パーセン  
ト近い減少率になります。そして、高齢者比率も、現状46、7パーセントぐらいだと  
思いますが、それが56パーセントぐらいまで上昇します。そんな中で、社会保障費、  
医療費を含めて膨大になってくると思う。そうした観点から言って国の制度がどうかと  
いうと、社会保障費は先進国に比べて残念ながらかなり落ちています。他の国は、経済  
成長率を基準として、その成長率を社会保障費に上積みしているんですよ。ところが日  
本はそれを行っていないんです。そういうところから見ると、この辺の自治体は、国の  
助成がなければ成り立たないというのが現実だと思えます。それだけの人口が減るとい

うことは、今行っている様々な行政サービス、道路、下水道などに影響が出ないわけがないと思います。そういった対策を考えなければならないと思います。新庁舎を建替えたいということですが、もちろん建替えしなければならないと思います。ただ、減少人口から見ると、スリム化するという考えを持っていないとだめだと思います。そうでなければ、破たんに向かっていくというのは大げさかもしれないが、その可能性が大きくなっていくと考えています。その辺を考えていただいて、できるだけ縮小した建物としていただきたいと思います。

#### ●病院事務課長

最初に市立病院のデータについてお話をいただきました。平成15年ぐらいですが、その当時はおっしゃる通り11億円の留保資金があり、医師も常勤で19人いました。その翌年の平成16年に新しい医師の臨床研修制度が始まって、医師が大学の医局に残らないでということで、医局から医師の派遣を受けていたところに回らなくなったということで、おっしゃった内容のとおりとなっています。

先ほど424病院のお話がありました。公立病院で424病院が対象で、中空知では市立芦別病院だけが対象になったということですが、これは急性期、あるいは高度急性期の病院が対象となり、急性期をやらない病院、療養病棟しかない歌志内、奈井江の病院はこの中に入ってなく、中空知では4つの病院が対象となっていました。診療実績の見方が平成29年の6月ひと月だけのデータをもとに判断されたことになり、データとして、そのひと月の実績が少なかったかもしれないということも考えると、それがすべてではないと思っています。ただ、地方の病院は外科の先生がいなくて手術がないとか、そういった実績がないのは間違いないので、芦別の市立病院については、そうみられても仕方ない部分がありますが、他の病院についても同様のケースがみられる中で、芦別だけがそうみられたのは残念な部分がありますけれど、なくてはならない病院であるということもありますので、この講評とは別に地域の医療を守る病院としてやっていくしかないと考えています。

#### ●危機対策課長

スリム化のことについて、お話にありましたように、この先人口が減って市役所の職員

ももっとスリム化していかないとは考えています。今回ご提案させていただきまし  
たことについても従来は6000㎡あったものを4,700㎡ぐらいにしています。そして、い  
ったんはこの形でと考えていますが、構想から計画への段階でもっと無駄な部分があ  
る

のかという視点を踏まえまして減らしていきたいと思います。

#### ○市民

さっき言ったように、今年中でもいいから青写真を作ってほしい。頼城の青写真を。市  
役所を作るのに青写真を作っているんだから頼城だって作れるはず。だんだん動けなく  
な

るのだから。ここにいるのは困らないのだけれど、年を取って、市が青写真を作ってあと  
三年でどこかに行ってほしいとか、仲町の住宅が空いたので東町の人はそのちに移って  
く

れというような青写真を作ってもらっても困る。仲町も東町の人たちも年を取っている  
の

で、風呂に歩いていかなければならない。風呂入りたい人はデイサービスを受けるために  
芦別にいかなければならない。そんなみじめなことではなく、市長が言っているように住  
みよい芦別、住みよい頼城を作ってほしい。炭鉱が閉山して人が減って残りたい人は残

つ

てくれでは困る。三井の石炭があった時、芦別は潤っていたのだから。私もそこで30数年働いていました。それを考えたら、もう少し具体的に、来るたびに何回も言っているように、車の運転も2・3年したらできなくなるけど、バスの本数も少ない状況です。あなたたちが考えている以上に大変で、来るのがない人は芦別に行くのに一日がかりになっ

て

しまいます。バスだって大きいのではなくて、8人乗りだっていいと思う。

●副市長

今ほど要望がありました地域をどうするのかということに関しては、今後しっかり検討

していきたいと考えています。先ほどお話しがありましたように芦別の人口はものすごい

勢いで減っています。当然、それに伴って市役所もコンパクト化していかなければなりません。コンパクト化するだけではなくて、そこに充実したまちづくりを行わなければならないということです。頼城を愛してこの地に住んだとしても、病院だとか買い物だとか、介護・福祉の施設だとか、より身近にあることが正しいことだと考えます。そこで、コンパクト化をどうできるか、この地に住んでいてそういう施設に行くとして交通手段をど

う

していくのか。これらを合わせた計画を青写真を作っていきたいと思っていますので、その策定については、しっかりと皆さんと意見交換をして作っていきたいと思います。この芦別の各地域でどのような問題点があって、どのようにしたらまちがコンパクトになっ

て、

住んでいる皆さんが安全で安心な暮らしができるか、幸せを実感できるかということをし

こ

れから進めて行きますので、少し時間をいただいて、必ずプランをもって説明にあがりた

●総務部長

今日の説明内容以外でも何かあれば、意見を聞かせてください。

○市民

芦別温泉はどうしてあんなに高いのですが。高くて芦別市民が行けなくなってしまいました。市民が知らないうちにあんなことになって、都会化してしまっ、低所得者とか年金生活者とか、体を温めに行くことができない状態です。芦別の住民の事を全然考えていまいと思う。私たちからしてはあんなものなくてもいいぐらいで、どういう風にあんなことになったのかを説明してほしいです。入った瞬間から時間カウント始まって、90分なんてあっという間です。

●市長

そういった形では大変ご不満もあろうかと思えます。現在、90分600円となっていますが、ここに至る過程では、指定管理ということでホテル&リゾートに運営をいただいております、基本的に料金は市の条例定めている金額の範囲内で定めることができようになっています。今回、星遊館の改修におきましても2年間で5億を投資しました。相当程度長い期間におきまして、配管等々、営業に堪えないということもございました。芦別温泉の泉質は、環境省が道内唯一、国民保健温泉地としている素晴らしいものでありますから、温泉をしっかりと活用していただくということに関して、足が遠くなっていることに対しては非常に申し訳なく恐縮しているところですが、料金という部分では、当初もう少し高く示されたところで、ホテル&リゾートも1億数千万円を投資をされて整備をしていると

ころであります。そういうことで、将来を見通した中での経営管理と申しますか、そういう立場で料金を示していただいたところもありました。そこに関しては、冒頭申し上げましたように足が遠のくということは好ましいことではなく、市民皆さんの健康づくり、憩いの場としてあの施設があるわけでありますから、使命をたがえることがないようにと申し入れた結果、料金を600円に下げてもらい、そこでやむなしと判断をさせていただきました。90分では短いというお話をいただきましたので、改めてそう言った時間調整ができないのかということも申し付けて行きたいと思っています。そういった声を遠慮なくいただければ、芦別市民の皆さんの足が遠のくことが、ある形ではないので、改善できることはしていきたいと考えていますので、これからもご意見をいただきたいと思っております。

○荻原市長あいさつ

最後まで熱心にお聴き取りいただきありがとうございました。庁舎について貴重な意見をいただきました。今後に向けて、意向を踏まえながら対応を図っていかねばならないと思っております。一つ申し上げさせていただきますと、この4月から芦別の10か年の将来の計画であります第6次総合計画がスタートいたします。将来像については、市民憲章に準じて「みんなで築く 豊かで住みよい 人と文化の輝くまち」を考えています。この実現に向けましての初年となるのが令和2年度になります。令和2年度の予算が大詰めを迎えておりまして、そういう意味ではこの計画が着実に歩みができるように、また市民の皆さんにもご理解がいただけるような予算編成に努めて参りたいと思っています。

これからも、皆さんと一緒に考え、力を合わせてこのまちを地域を元気に、そして前へ力強く歩み続けられるように職員一丸となって取り組んでまいりますので、引き続き皆さんのご支援とご協力をお願いしたいと思っています。加えて、札幌管区气象台によりますと、今週から来週に向けましては、気温に高低差があるということでございます。体調管理には十分ご注意くださいまして、ご健勝でお過ごしすることをご祈念いたしまして、本日の懇談会を終了したいと思います。

## 5 閉会

以 上